

Media information

NO. 22/2022

【和訳】

VPR22-010

2022年3月14日(月)

フォルクスワーゲングループ、2021年に堅調な財務結果を達成、 「NEW AUTO」への変革を推進

- 堅調なビジネスモデル: 半導体不足や、2019年と比較し240万台減少した販売台数にもかかわらず、堅調な財務結果と営業利益を達成
- 売上高は、より優れた製品構成と価格設定により、前年比12%増の2,502億ユーロ
- 特別項目計上前営業利益は、約2倍の200億ユーロ
- グループ全体の回復力を強化: 間接費の大幅な削減、設備投資に対する厳格な規律の適用により、損益分岐点が低下
- 自動車部門の力強い業績: ネットキャッシュフローは前年比35%増となる86億ユーロ、純流動性資産は、包括的な変革ステップを実施したにもかかわらず堅調な水準を維持し、2019年末と比較し50億ユーロ以上の増加となる267億ユーロ
- 取締役会および監査役会は、配当性向25.4%に相当する普通株式1株あたり7.50ユーロ、優先株式1株あたり7.56ユーロの増配を提案
- 2022年の見通し: 販売台数は5~10%増加、営業利益率は7.0~8.5%の範囲になると予測。しかし、この予測は、ウクライナでの戦争の今後の情勢、特にグループのサプライチェーンと世界経済全体に与える影響によって変化

2022年3月11日 ウォルフスブルグ – フォルクスワーゲングループは、2021年にビジネスモデルの堅牢性を証明しました。グループは全体的な回復力を高め、さまざまな制約に対処する能力を向上させました。間接費の削減に成功し、設備投資に対する厳格な規律を適用したことにより、損益分岐点が低下しました。同時に、フォルクスワーゲンは、「NEW AUTO」に向けた変革も推進しました。半導体不足による逆風の中、2020年と比較し販売台数が約60万台減少したものの、堅調な利益を計上しました。これは、2019年と比較すると240万台減となります。販売台数は前年比6%減少したものの、売上高は12%増加し2,502億ユーロとなりました。特別項目計上前営業利益は、2020年と比較して約2倍になり、200億ユーロと堅実な水準に達しました。特別項目計上前営業利益率も、前年の4.8%から8.0%に上昇しました。この財務実績は、より優れた製品構成と適切な価格設定の組み合わせによって達成されました。自動車部門は、前年比35%増となる86億ユーロの力強いネットキャッシュフローを生み出しました。自動車部門の純流動性資産は、2020年末とほぼ同じ水準となる267億ユーロでした。しかし、これは、Navistarの買収など、当該期間に数多くの変革のための対策が講じられたことを考慮すると、2019年末に対しては50億ユーロ以上の増加に相当します。

取締役会および監査役会は、普通株式1株あたり7.50ユーロ、優先株式1株あたり7.56ユーロの増配を提案しました。これは、前年度の普通株式1株あたり4.80ユーロ、優先株式1株あたり4.86ユーロと比較すると56%の増加となります。配当性向は25.4%に相当します。普通株式1株当たりの利益は29.59ユーロ(16.60ユーロ)、優先株式1株当たりの利益は29.65ユーロ(16.66ユーロ)でした。

フォルクスワーゲン グループ最高財務責任者(CFO)のアルノ アントリッツは、次のように述べています。「過去2年間で、私たちは危機が会社に与える影響を、より適切に軽減する方法について学んできました。私たちは、このような困難な時期にあっても前進していくため、これらの経験を最大限に活用できると確信しています。2021年は、営業利益を改善し、間接費を削減し、損益分岐点を下げ、設備投資に対する規律を維持することで、全体的な堅牢性を強化しました。その結果、堅調な財務結果とキャッシュフローを達成することができました。同時に、将来の投資に関して妥協することなく、持続可能なソフトウェア主導のモビリティプロバイダーになるために前進を遂げました。」

世界的な半導体不足により、2021年のフォルクスワーゲン グループの販売台数は6.3%減少して860万台でした。しかし、電動化攻勢の加速は成功し、バッテリー式電気自動車(BEV)の世界的な販売台数は約2倍の45万2,900台になりました。グループは、BEVの販売において、ヨーロッパで約25%のシェアを獲得した市場リーダーとなり、主要な米国市場で約7.5%のシェアを獲得して2位となりました。中国では、2020年と比較して4倍以上となる9万2,700台のBEVが納車されました。

収益増加の主な推進要素は、優れた製品構成と適切な価格設定でした。その結果、販売台数は減少したものの、売上高は前年比12.3%増の2,502億ユーロ(2,229億ユーロ)に増加しました。フォルクスワーゲン グループは、2019年と比較して販売台数が約240万台減少したにもかかわらず、堅実な営業利益と営業利益率を達成しました。特別項目計上前営業利益は、前年比約2倍の200億ユーロ(106億ユーロ)となりました。これは、特別項目計上前営業利益率が8.0%(4.8%)であることを意味します。フォルクスワーゲン グループの税引前利益は72.5%増の201億ユーロ(117億ユーロ)、税引前営業利益率は8.0%(5.2%)でした。税引後利益は74.8%増の154億ユーロ(88億ユーロ)でした。

自動車部門は、前年比35.4%増となる86億ユーロ(64億ユーロ)の力強いネットキャッシュフローを生み出しました。純流動性資産は、前年の水準を維持し、267億ユーロ(268億ユーロ)でした。しかし、これは、Navistarの買収など、当該期間に数多くの変革のための対策が講じられたことを考慮すると、2019年末に対して50億ユーロ以上の増加に相当します。持続可能なソフトウェア主導のモビリティプロバイダーになるための基盤として、グループは、ソフトウェア開発と自動運転の能力を拡大し、バッテリー式電気自動車のポートフォリオを拡充するために投資しています。そのため、自動車部門の研究開発費は12.2%増加して156億ユーロ(139億ユーロ)となりましたが、研究開発比率は前年と同じ7.6%でした。グループは、設備投資に関しては、厳格な規律を維持し、支出を5億ユーロ以上削減して、105億ユーロ(111億ユーロ)に抑制しました。これにより、売上高に対する設備投資比率が5.1%(6.1%)に減少しました。

見通し

フォルクスワーゲン グループは、厳しい市場環境が続いていることを考えると、2022年の販売台数は前年比5%~10%の増加と予測しています。これは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが再び発生することがなく、中間製品や原材料の不足がそれほど深刻にならないことを前提としています。2022年度も引き続き、半導体の構造的な供給不足による影響を受けると予測しています。半導体の供給は、上半期に比べて下半期には改善すると見込んでいます。

フォルクスワーゲン グループは、売上高が前年より8%~13%増加すると予想しています。グループの業績に関しては、2022年の営業利益率は7.0~8.5%の範囲となる見込みです。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

自動車部門では、2022年の研究開発比率は約7%、売上高に対する設備投資比率は約5.5%になると予想しています。今年度は、ディーゼル問題に関連した現金支出が増加し、M&Aは前年並みになると見込んでいます。スカニアに対するEUの独占禁止法の手続きに関連する現金支出を含め、ネットキャッシュフローは前年度と同じ水準になると予想しています。2022年に、自動車部門の純流動性資産は、前年よりも最大15%増加すると予想しています。投資利益率(ROI)は、12~15%の範囲になると予測しています。

ただし、この予測は、ウクライナでの戦争の今後の情勢、特にグループのサプライチェーンや世界経済全体に与える影響によって変化する可能性があります。この見通しを作成した時点でも、ウクライナでの戦争の最新の動向が、フォルクスワーゲングループの事業に悪影響を与えるリスクがあります。サプライチェーンの停滞が原因になる可能性もあります。現時点では、具体的な影響を評価することはできません。また、この段階では、ウクライナでの戦争のさらなる拡大の可能性が、2022会計年度における世界経済と産業の成長に、どの程度の影響を与えるのかを確実に予測することもできません。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

フォルクスワーゲン グループ

	2021年	2020年	%
数値データ¹(単位:千)			
納車台数(台)	8,882	9,305	-4.5
販売台数(台)	8,576	9,157	-6.3
生産台数(台)	8,283	8,900	-6.9
12月31日時点における従業員数	672.8	662.6	+ 1.5
財務データ(会計基準:IFRS)、百万ユーロ			
総売上高	250,200	222,884	+ 12.3
特別項目計上前営業利益	20,026	10,607	+ 88.8
特別項目計上前営業利益率(%)	8.0	4.8	
特別項目	-751	-931	-19.4
経営利益	19,275	9,675	+ 99.2
営業利益率(%)	7.7	4.3	
税引き前利益	20,126	11,667	+ 72.5
税引き前営業利益率(%)	8.0	5.2	
税引き後利益	15,428	8,824	+ 74.8
自動車部門²			
総研究開発費	15,583	13,885	+ 12.2
研究開発比率(%)	7.6	7.6	
営業活動からのキャッシュフロー	32,402	24,721	+ 31.1
営業活動に起因する投資活動によるキャッシュフロー ³	23,793	18,364	+ 29.6
そのうち:設備投資	10,496	11,065	-5.1
売上高に対する設備投資比率(%)	5.1	6.1	
ネットキャッシュフロー	8,610	6,357	+ 35.4
12月31日時点の純流動性資産	26,685	26,796	-0.4
投資利益率(ROI)(%)	10.4	6.5	
ファイナンシャル サービス部門			
税引き前株主資本利益率(%) ⁴	17.3	8.8	

フォルクスワーゲン AG

	2021年	2020年	%
数値データ¹(単位:千)			
12月31日時点における従業員数	117.6	118.7	-0.9
財務データ(会計基準:HGB)、百万ユーロ			
総売上高	70,917	67,535	+ 5.0
当期純利益	4,041	6,338	-36.2
配当金(€)			
普通株式 1株あたり	7.50	4.80	
優先株式 1株あたり	7.56	4.86	

1 中国の非連結合併事業を含む販売台数データ。これらの企業は、持分法を使用して会計処理されます。前年度の販売台数は、その後の統計的傾向を反映するために更新されました。

2 自動車部門とファイナンシャル サービス部門間の連結調整割当分を含む。

3 株式投資の取得および処分を除く:17,910(17,175)(単位:100万ユーロ)

4 平均株主資本に対する税引前利益率。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

Note:

Details of the performance of the brands and business fields of the Volkswagen Group will be released around 7:30 a.m. for the annual press conference on March 15. Traton SE will publish their figures around the same time and hold its annual press conference on March 16.

This text and photo materials are available at:
www.volkswagen-newsroom.com.



Volkswagen AG

Corporate Communications | Head of Strategy & Finance Communications

Contact Christopher Hauss

Phone +49 5361 9-984175

E-mail christopher.hauss@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



Volkswagen AG

Corporate Communications | Spokesperson Finance & Sales

Contact Christoph Oemisch

Phone +49 5361 9-188 95

E-mail christoph.oemisch@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. The Group comprises ten core brands from seven European countries:

Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, Cupra, ŠKODA, Bentley, Lamborghini, Porsche, Ducati and Volkswagen Commercial Vehicles. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products range from pick-ups to buses and heavy trucks. Every weekday, 662.600 employees around the globe are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2020, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 9.31 million (2019: 10.98 million). Group sales revenue in 2020 totaled EUR 222.9 billion (2019: EUR 252.6 billion). Earnings after tax in 2020 amounted to EUR 8.8 billion (2019: EUR 14.0 billion).
